

歯周・インプラント周囲組織の微小循環特論

Advanced Course of Microcirculation of Periodontal and Peri-implant Tissue

キーワード

- ① 歯周組織
- ② インプラント周囲組織
- ③ 脈管系
- ④ 微小循環
- ⑤ 電子顕微鏡

授業概要

歯周組織とインプラント周囲組織の微小循環について基礎的ならびに臨床的知識を修得する。また、微小循環の視点から歯周組織の再生歯科医療や新たなインプラント表面性状を開発する。講義は(1) 血管鋳型法を用いた微小循環による歯周組織再生療法の開発、(2) 蛋白分解酵素-凍結乾燥法による骨増生療法の開発、(3) 走査型電子顕微鏡を用いたインプラント表面構造の開発の中から一つもしくは複数を選択し、歯科基礎医学の立場から臨床に提言できる歯科医師を目指す。

授業科目の学修目標

血管は再生医療の成否を左右する重要な器官の一つである。本科目では歯周組織・インプラント周囲組織の循環に焦点をおき再生歯科医療として応用出来る知識と技術を修得する。組織修復時や各種疾患時、また歯科医療に伴う微細な血管構築と循環動態について理解する。そしてここで得られた内容を歯科臨床に応用出来る歯科医師-研究者になるべくことを認識する。

授業計画

- ① 循環・脈管系の組織構造と循環動態 4コマ 松尾雅斗
- ② 歯周組織の微小循環 10コマ 松尾雅斗
- ③ インプラント周囲組織の微小循環 10コマ 松尾雅斗
- ④ 再生歯科医療に関わる微小循環 6コマ 松尾雅斗

教科書および参考書

Oral cells and Tissues P.R.Garant, Quintessence.
Fundamentals of Oral histology and oral physiology, R.Hand and E.Frank, Wiley Blackwell.

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

微小循環をテーマにしていますが、常に組織や器官、歯科医療へのフィードバックを忘れずに学んで下さい。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 循環・脈管系の組織構造と循環動態を理解し修得する。
- ② 歯周組織の微小循環を理解し修得する。
- ③ インプラント周囲組織の微小循環を理解し修得する。
- ④ 再生歯科医療に関わる微小循環を理解し修得する。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
0%	0%	20%	50%	0%	20%	10%

評価の要点

- ・レポートは、授業計画の4項目について課題を提出する。5%×4回=20%
- ・成果発表は関連学会で発表を行いその理解度を判定する。1回50%
- ・口頭試問は、授業計画の4項目についてその理解度を判定する。5%×4回=20%
- ・その他：学会発表時の質疑応答でその理解度を判定する。1回10%

理想的な達成レベルの目安

歯周・インプラント周囲組織の微小循環特論の理想的な達成レベルは80%以上とする。